

漢字で書けるようにしておくこと。ただし、※印のところは、ひらがなでも正解にします。

1	1871	22	征韓論 <sup>せい かん ろん</sup>	43	君死にたまふことなかれ
2	1873	23	西南戦争 <sup>せい なん</sup>	44	セオドア・ルーズベルト
3	1874	24	日朝修好条規 <sup>にっ ちよう しゅうこう じょうき</sup>	45	日比谷 <sup>ひ び や</sup>
4	1875	25	榎本武揚 <sup>え の も と たけ あき</sup>	46	南満州 <sup>まん しゅう</sup>
5	1877	26	樺太・千島 <sup>から ふ と ち し ま</sup>	47	樺太※
6	1886	27	小笠原諸島 <sup>お が さ わ ら し ょ う</sup>	48	ソウル
7	1889	28	和歌山	49	安重根 <sup>アンジュングン</sup> ※
8	1890	29	治外法権 <sup>ち が い ほうけん</sup>	50	石川啄木 <sup>いしかわ たくぼく</sup>
9	1894	30	陸奥宗光 <sup>む つ むねみつ</sup>	51	生糸 <sup>き い と</sup>
10	1895	31	イギリス	52	富国強兵 <sup>ふ こ く きやうへい</sup>
11	1902	32	小村寿太郎 <sup>こ む ら じゅ た ろ う</sup>	53	八幡製鉄所 <sup>やは た せい てつ じょ</sup>
12	1904	33	甲午農民戦争 <sup>こう ご</sup>	54	労働争議 <sup>ろうどう そうぎ</sup>
13	1905	34	ロシア	55	渋沢栄一 <sup>しぶさわ えいいち</sup>
14	1910	35	下関条約 <sup>しものせき</sup>	56	田中正造 <sup>た な か し ょ う ぞ う</sup>
15	1911	36	遼東半島 <sup>リャオトン</sup>	57	北里柴三郎 <sup>きたざとしばさぶろう</sup>
16	鹿鳴館 <sup>ろくめいかん</sup>	37	台湾 <sup>たいわん</sup>	58	野口英世 <sup>のぐち ひ で よ</sup>
17	木戸孝允 <sup>き ど たかよし</sup>	38	ドイツ・フランス	59	森鷗外 <sup>もりおうがい</sup> ※
18	岩倉具視 <sup>いわくらともみ</sup>	39	満州 <sup>まんしゅう</sup>	60	樋口一葉 <sup>ひぐちいちよう</sup>
19	伊藤博文 <sup>いとうひろぶみ</sup>	40	日英同盟 <sup>にちえいどうめい</sup>	61	夏目漱石 <sup>なつめそうせき</sup>
20	大久保利通 <sup>おおく ぼ としみち</sup>	41	アメリカ	62	岡倉天心 <sup>おかくらてんしん</sup>
21	日清修好条規 <sup>にっしんしゅうこうじょうき</sup>	42	与謝野晶子 <sup>よ さ の あき こ</sup>	63	黒田清輝 <sup>くろだせいき</sup>
				64	横山大観 <sup>よこやまたいかん</sup>

記述 1 ロシアの勢力<sup>せいりよく</sup>が中国や朝鮮<sup>ちようせん</sup>におよぶことを防ぐために、イギリスが日本を味方につけようとした。

記述 2 増税<sup>ぞうぜい</sup>にたえて戦争をささえたのに、ロシアから賠償金<sup>ばいしょうきん</sup>がとれなかったこと。

記述 3 朝鮮人<sup>ちようせん</sup>に日本語の使用<sup>きようせい</sup>を強制し、日本人名を名のらせ、朝鮮の民族意識<sup>ちようせん みんぞく</sup>を失わせ、日本に抵抗<sup>ていこう</sup>する民族運動<sup>みんぞく</sup>をなくすための教育が行われた。